

今月は、3つの事故事例を紹介します。要因は、それぞれ保護具の不備、施工方法の欠陥及び法令遵守意識の欠如となっています。これらを教訓として同種事故の発生防止に努めましょう。

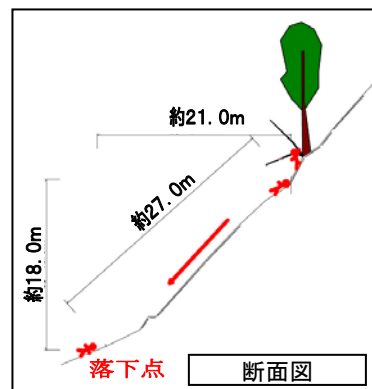
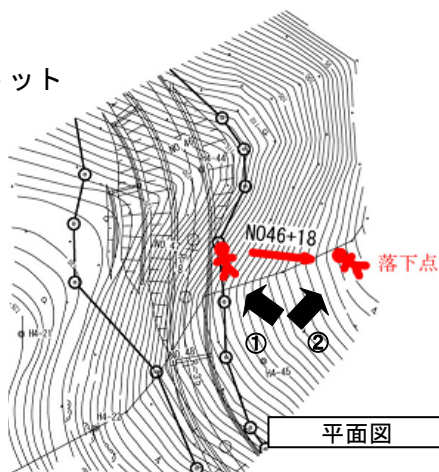
測量中に斜面を滑落!!

【事故概要】

工用道路設計のための測量作業において、作業員が斜面の移動に際して捕まった立木が腐っており、木は折れて当該作業員はそのまま斜面を滑落し、頭部に裂傷を負った。

【事故原因】

作業員が命綱等を使用せず、またヘルメットの顎ひもをしていなかったこと。



【事故防止対策案】

- ・ 命綱等を必着すること及びヘルメットを正しく使用することを徹底する。

足場組立中、資材が落下し、作業員に当たる!!

【事故概要】

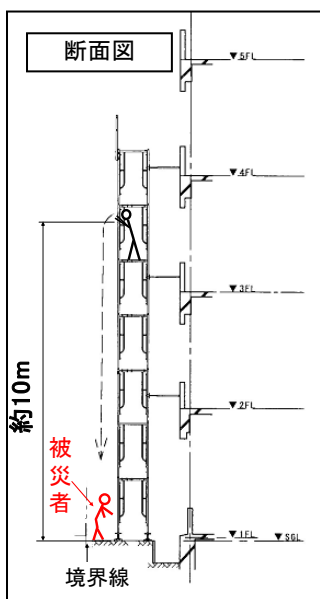
枠組足場（手摺先行方式）の組立作業において、7段目の足場へのせり上げの足場材（手摺）を移動させようとした時、6段目の足場に資材が引掛かった。その反動で足場材（手摺）が落下し、直下で足場材を整理していた作業員に当たり、頭部を負傷した。

【事故原因】

作業計画に上下作業防止対策がなく、上階作業時の直下への立入禁止対策を怠ったこと。

【事故防止対策案】

- ・ KY 活動の徹底、安全意識の向上を図る。
- ・ 上部作業中の直下立入禁止の徹底を図る
- ・ 作業計画を見直す。（直下の立入禁止措置）

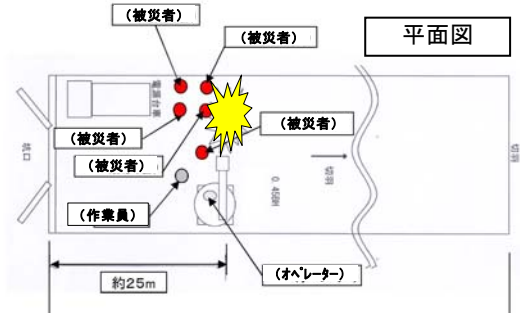


トンネル内で不発残留火薬の爆発事故が発生!!



[事故概要]

インバート設置の為のトンネル内発破掘削作業において、雷管をセットした含水爆薬(親ダイ)の導通確認をしたが、1箇所導通が確認できなかったことから、殉爆させるために、その上にさらに親ダイを1本追加し発破を行った。その後、殉爆したか確認するため、バックホウで掘削していたところ爆発し、側にいた作業員5名が負傷した。

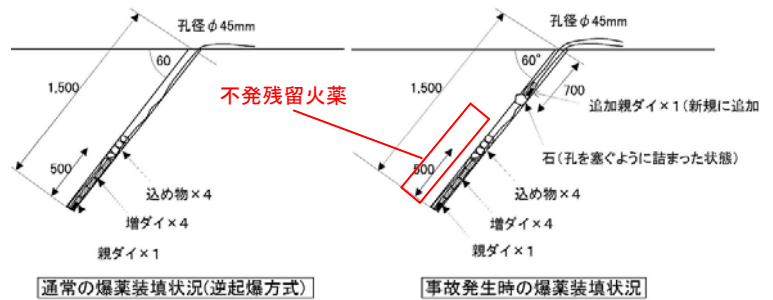
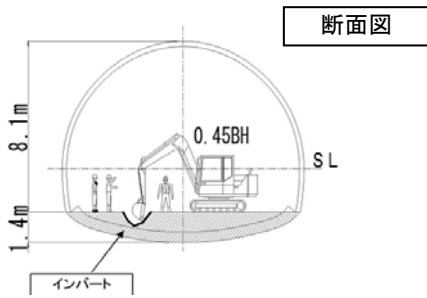


[事故原因]

不発残留火薬が爆発する可能性を認識しながらも、爆発の危険性を軽視したこと。

[事故防止対策案]

- ・ 施工計画、作業手順の整備・保安教育を実施する。
- ・ 保安管理体制の強化・徹底を図る。



死亡事故発生!!

今月に入り、もらい事故による死亡事故が発生しました。当該事故は、路肩で注意喚起を行っていた交通誘導員の背後から、反対車線を通行していた一般車両が追突したものです。原因は一般車両の居眠り運転となっておりますが、各事務所の現場におかれましても交通規制のあり方、交通誘導員の配置位置等、もらい事故防止のため安全対策に万全を期すよう周知願います。



【もらい事故対策(案)】として

- ・ 人員配置を考える。(人形等で代替が可能か検討する。)
- ・ 軽トラックの荷台から誘導する。または、クッションドラムを背後に設置する。

12月1日より12月15日は、平成20年度第2回工事安全強化期間です。



一人一人が安全管理の責任者
気づいたその場で即改善!!

